

報道関係者 各位

平成28年10月18日

【照会先】

関東信越厚生局地域包括ケア推進課

地域包括ケア推進課長 懸上 忠寿

上席地域包括ケア推進官 大和田 修弘

電話 048-740-0793 (代表)

## 生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会の 説明団体（7団体）が決定しました（追加報）

既にお知らせしました10月26日開催の「生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会」に参加いただく団体（7団体）が決定しました。

各団体とも制度の定着と普及に従前から取り組み、様々な知見を持つ団体です。

全国で初めての試みですので、各団体の説明概要と共に改めて連絡させていただきます。

（参考）9月16日プレスリリース内容

●開催案内

生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会

●開催日時

平成28年10月26日（水）13時00分～17時30分

●開催場所

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1

さいたま新都心合同庁舎1号館5階 共用研修室5-1

（注）取材に当たりましては、セキュリティゲートの通過が必要ですので、恐れ入りますが、必ず事前に傍聴の申し込みをされるようお願い申し上げます。

## 生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会応募用紙

### 【送付先】

関東信越厚生局地域包括ケア推進課

FAX:048-601-0512

10/26 開催生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会傍聴希望

【締切:平成28年10月25日(火)12:00(厳守)】

標記説明会の傍聴を希望します。

また、傍聴に当たり下記の事項を遵守いたします。

|                | 一人目 | 二人目 |
|----------------|-----|-----|
| 氏名             |     |     |
| 勤務先及び<br>所属・職名 |     |     |
| 連絡先(メールアドレス)   |     |     |
| 連絡先(電話番号)      |     |     |
| 連絡先(ファックス)     |     |     |
| その他            |     |     |

### 記

- (1) 事務局の指定した場所以外に立ち入ることはできません。
- (2) アラーム付の時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか、音が鳴らないようマナーモードに設定してください。
- (3) 写真撮影、ビデオ撮影、録音をすることはできません。(あらかじめ申し込んだ場合は、セミナー冒頭の頭撮りに限って、写真撮影などをすることができます。)
- (4) その他、事務局職員の指示に従ってください。

以上

関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

「生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会」

参加予定団体の説明概要

〈社会福祉法人全国社会福祉協議会〉

～交流の場づくりから始める

社会参加～

高齢者の在宅生活を支援するために行っている訪問介護や配食サービスの福祉サービスをはじめ、多様なニーズに応えるために行っている福祉事業を紹介し、「福祉のまちづくり」を目指す自治体の参考となる情報を提供します。

〈特定非営利活動法人  
全国移動サービスネットワーク〉

～多様な移動支援サービスと

多様な担い手候補～

地域のニーズとして必ず出てくる移動の問題  
福祉有償運送、公共交通空白地有償運送、道路運送法上の登録が不要な地域活動、外出支援ボランティア等の  
住民主体の様々な移動サービスの構築方法を  
紹介します。

〈認定特定非営利活動法人  
市民福祉団体全国協議会〉

～柔軟性と多様性のNPOが

生み出す地域社会とは～

「生活支援コーディネーター養成事業」、「成年後見事業」のほか、地域の助け合いや支え合いを行う市民団体の人材研修に関する相談や人材派遣に関する紹介を行い、地域主体の事業推進に役立つ情報を提供します。

〈一般社団法人全国老人給食協力会〉

～食でつなぐ地域コミュニティ

食の秘めたる力とは～

命の源・欠かすことのできない「食」。  
会食サービスや配食サービスを通じて高齢者との結びつきを深めることによって可能となる安否確認、孤立の防止、体調改善など、「食」にしかできない役割を紹介します。

〈公益財団法人さわやか福祉財団〉

～生活支援コーディネーターの

地域アプローチとその秘訣～

多くの自治体が悩みを抱えている、生活支援コーディネーター・協議体の選任や設置等の支援をはじめ、地域の体制づくりに向けた、各関係者・住民向けの研修会やフォーラム等の取り組み支援等、実践事例を紹介し、自治体の「新しい地域づくり」に役立つ情報を提供します。

〈特定非営利活動法人  
全国コミュニティライフサポートセンター〉

～社会資源は開発より発見～

生活支援コーディネーターの役割の一つである「社会資源の開発」。しかし、地域にはすでに趣味の場やお茶飲み場など様々な支え合いがあります。そうしたすでにある資源の発見方法や、支え合いネットワークの構築方法を紹介します。

〈一般社団法人全国老人クラブ連合会〉

～高齢者は重要な社会資源～

それぞれの地域で「健康づくり・介護予防や趣味・レクリエーション」、「集いの場づくり・見守り・安否確認」など、まさに地域包括ケアの根幹を担う活動を行っている社会資源、それが「老人クラブ」です。  
老人クラブの活動を紹介します、新しい総合事業への活用方法を提案します。